

『高等学校・芸術科・音楽Ⅰ』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年5月22日 第2校時(50分)

(2) 場 所 音楽室

(3) 学年・学級 第1学年1組(25名)

使用教科書 ON!1(音楽之友出版 P32・33)

(4) 題 材 名 イタリア歌曲の特徴を捉え、歌唱表現を工夫しよう

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

これまでの歌唱活動において、旋律やハーモニー、言葉と音楽のかかわりについて理解し、曲種に応じた発声について学習している。

【題材のねらい】

曲想と音楽の構造(旋律、強弱、速度など)や歌詞の内容について考え、表現の工夫を考えながら歌唱する。

【生徒の状況】

- ・音楽への興味・関心が比較的高く、歌唱活動について積極的な生徒が多い。
- ・一部には他者とのコミュニケーションを苦手と感じている生徒がおり、グループ活動に消極的な面がみられる。
- ・各自のタブレット端末には、参考演奏や伴奏が入っていて使える状況にある。

(6) 指導計画(全3時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1時	・「Caro mio ben」のイタリア語の発音と歌詞の意味について知る。 ・旋律の音取りをする。 ・伴奏に合わせて歌唱し、個人のタブレット端末に録画あるいは録音する。	一斉 個人	
第2時	・曲想と音楽の構造(旋律、強弱、速度など)や歌詞との関わりについて考え、グループで表現の工夫について考える。 ・考えたことをグループで歌い確かめ、ワークシートにまとめる。	個人 グループ	思考・判断・表現
第3時	・グループごとに自分たちが表現方法の工夫について発表し、演奏する。 なお、演奏については個人のタブレット端末に録画あるいは録音する。 ・第1時と本時の歌唱表現の違いについて比較し、振り返りをする。	グループ 個人	技能 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。